

**第13単元 四角形と三角形の面積①**

問題番号	配点	解 答 (許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて	
<b>1</b>	①	10 (各5)	式 $6 \times 5 = 30$ 答 $30\text{cm}^2$	[知技]平行四辺形や三角形の面積公式を適用して、面積を求めることができる。	底辺に対応する高さが見つけれない児童には、底辺に対して垂直に交わる直線が高さになっていることを理解させる。
	②	10 (各5)	式 $4 \times 3 \div 2 = 6$ 答 $6\text{cm}^2$		
	③	20 (各10)	式 $2 \times 5 = 10$ 答 $10\text{cm}^2$		
	④	20 (各10)	式 $5 \times 6 \div 2 = 15$ 答 $15\text{cm}^2$		
<b>2</b>	①	10 (各5)	式 $(8+12) \times 7 \div 2 = 70$ $((12+8) \times 7 \div 2 = 70)$ 答 $70\text{cm}^2$	[知技]台形やひし形の面積公式を適用して、面積を求めることができる。	それぞれの公式をつくる過程を振り返らせ、公式の意味を確認する。
	②	10 (各5)	式 $12 \times 8 \div 2 = 48$ $(8 \times 12 \div 2 = 48)$ 答 $48\text{cm}^2$		
<b>3</b>	①	10	20	[知技]三角形の底辺に対応する高さを見つけることができる。	辺BCに対し、どの直線が垂直になっているか気づかせる。
	②	10 (各5)	式 $30 \times 20 \div 2 = 300$ $25 \times 24 \div 2 = 300$ (順不同)	[知技]三角形の面積公式を適用して、面積を2通りの方法で求めることができる。	底辺が決まることにより、対応する高さが決まることに気づかせる。

**第13単元 四角形と三角形の面積②**

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
<b>1</b>	㊦	[思判表]平行四辺形は、底辺の長さが同じ場合、面積は高さに比例することをとらえている。	どのように変わるかととらえられない児童には、実際に計算して表にまとめさせ、比例の定義に基づいて高さとの面積の関係を確認させる。
<b>2</b>	㊦	[思判表]三角形の底辺と高さが等しければ、面積は変わらないことを説明している。	底辺の長さとの高さが等しければ、三角形の面積は等しくなることを、公式や図を用いて説明すると有効である。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	2問	1問	0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。